

## 会社概要

(2018年9月30日現在)

社名 トーカロ株式会社 TOCALO Co.,Ltd.  
 設立 1951年7月  
 所在地(本社) 神戸市中央区港島南町六丁目4番4号  
 資本金 26億5,882万3千円  
 従業員数 単独 646名 連結 1,006名

## 子会社

日本 日本コーティングセンター株式会社  
 神奈川県座間市  
 中国 東華隆(広州)表面改質技術有限公司  
 広東省広州市  
 中国 東質隆(昆山)電子有限公司  
 江蘇省昆山市  
 台湾 漢泰国際電子股份有限公司  
 台南市  
 アメリカ TOCALO USA, Inc.  
 カリフォルニア州  
 インドネシア PT.TOCALO SURFACE TECHNOLOGY  
 INDONESIA  
 西ジャワ州カラワン県

## 役員

(2018年9月30日現在)

代表取締役会長 町垣 和夫  
 代表取締役社長 三船 法行  
 専務取締役 木村 一郎  
 常務取締役 久野 博史  
 常務取締役 黒木 信之  
 常務取締役 樽見 哲男  
 取締役 進 英俊  
 取締役 千葉 祐二  
 取締役 三木 猛  
 取締役 後藤 浩志  
 取締役(社外) 山崎 優  
 取締役(社外) 吉葉 正行  
 取締役(社外) 丹波 農一  
 取締役(社外) 瀧原 圭子  
 監査役(常勤) 北秋 廣幸  
 監査役(常勤・社外) 吉田 敏彦  
 監査役(常勤) 小山 俊彦  
 監査役(社外) 中田 琢也

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 基準日 定時株主総会については3月31日  
 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関  
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)  
 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部  
 公告方法 電子公告  
 公告掲載URL <https://www.tocalo.co.jp/>  
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。)

## 株式の状況

(2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 160,000,000株  
 発行済株式の総数 63,200,000株  
 (内、自己株式2,405,112株)  
 単元株式数 100株  
 株主数 6,965名

## 大株主

持株数(千株)

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 8,738  
 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 4,423  
 GOVERNMENT OF NORWAY 2,877  
 トーカロ従業員持株会 2,779  
 BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND 2,701  
 (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)  
 トーカロ株式会社 2,405  
 SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT 1,952  
 西條 久美子 1,036  
 広瀬 真理子 952  
 RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT- 899  
 CLIENT ACCOUNT

## (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

# TOCALO 68 REPORT

中間報告書 2018年4月1日から2018年9月30日まで

豊かな暮らしの中に、  
 トーカロの技術が溢れています。



**TOCALO** トーカロ株式会社

〒650-0047 神戸市中央区港島南町六丁目4番4号  
TEL 078-303-3433



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。

**TOCALO** トーカロ株式会社

証券コード: 3433(東証一部)

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、当社第68期中間期(2018年4月1日から2018年9月30日まで)の  
事業の状況につきまして、ご報告申し上げます。

中間期の連結業績について

国内外で緩やかな景気の拡大が続く中、当中間期における当社グループ全体の業績は、半導体・FPD(フラットパネルディスプレイ)やエネルギー分野における受注が好調に推移しましたが、2018年7月31日発表の第2四半期業績予想(上方修正後\*)に対しては、売上高が0.3%減、経常利益が2.9%減と一歩及びませんでした。

売上高につきましては、半導体・FPD分野の溶射加工が、データセンター向け半導体やテレビ用大型FPDの活発な設備投資を背景として大幅に増加しました。また、火力発電所ボイラの大型工事などエネルギー分野の溶射加工が伸長した結果、前年同期比45億81百万円(28.0%)増の209億43百万円となりました。

損益面では、迅速な増産対応や工程改善による生産性向上に取り組んだ結果、経常利益は前年同期比12億62百万円(35.1%)増の48億55百万円となりました。

※第2四半期業績予想の修正について  
修正予想:売上高210億円、経常利益50億円(当初予想:売上高190億円、経常利益40億円)

今後の業績見通し、舵取りについて

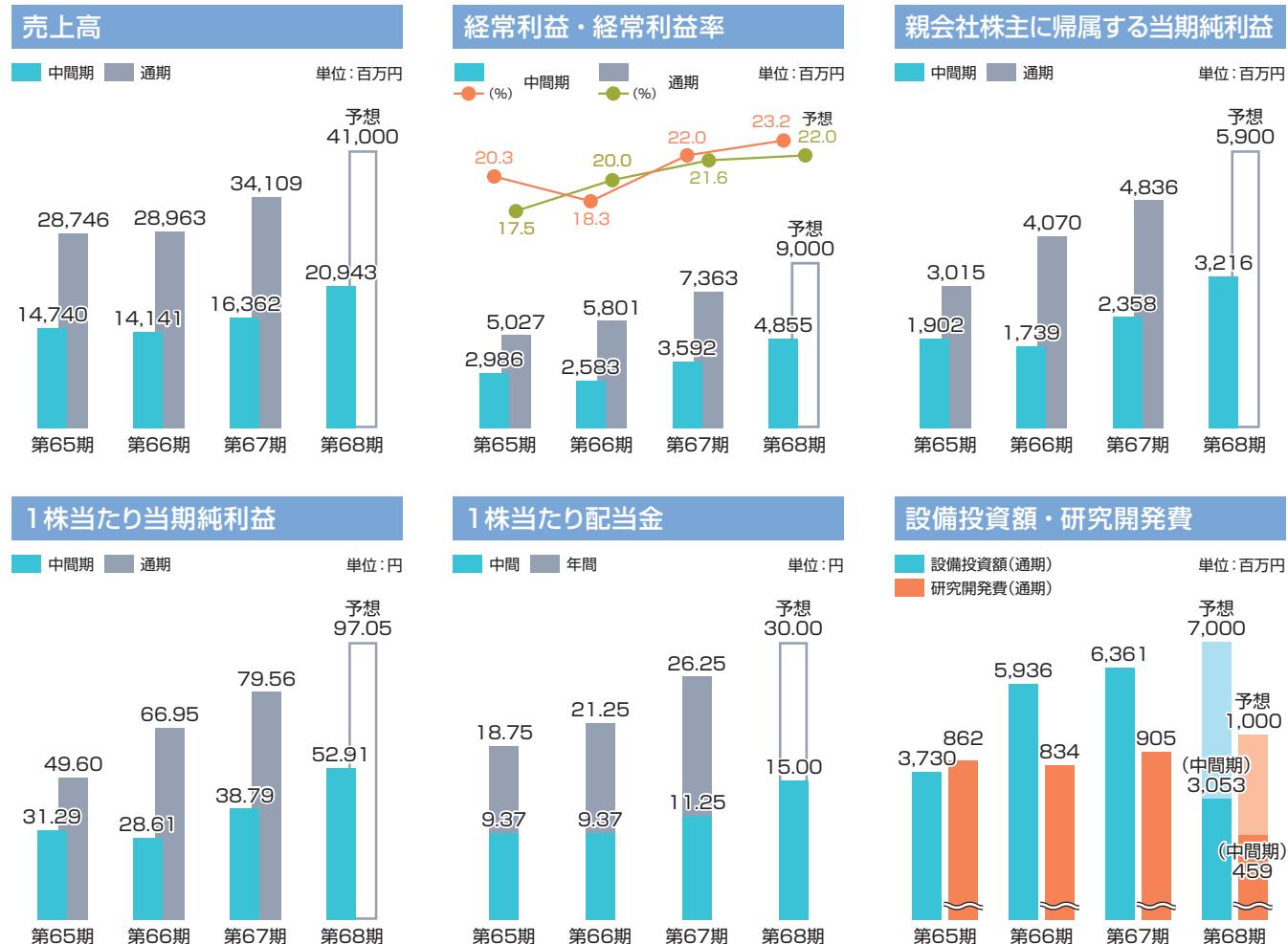
世界の半導体市場は、メモリー価格の下落等で一服感が出ているものの、ビッグデータの利用拡大、IoT、AI、自動運転などへの対応で中長期にわたっては成長局面にあり、当社の受注も半導体製造装置向け溶射加工を中心に総じて順調に推移するものと予測されます。半導体以外の分野では、新素材(高張力鋼板、高性能フィルムなど)、エネルギー・環境(ボイラ、高効率タービンなど)、輸送機(高速鉄道、航空機など)、医療(手術器具など)などの成長分野で、お客様の課題に応える表面改質技術の研究開発を進めます。

また、お客様の部品や装置の耐久性向上や長寿命化を通して省エネ・省資源に貢献できる表面改質技術を広く普及させ、市場の拡大とともに地球環境負荷低減に努めてまいります。



代表取締役社長  
三船 法行

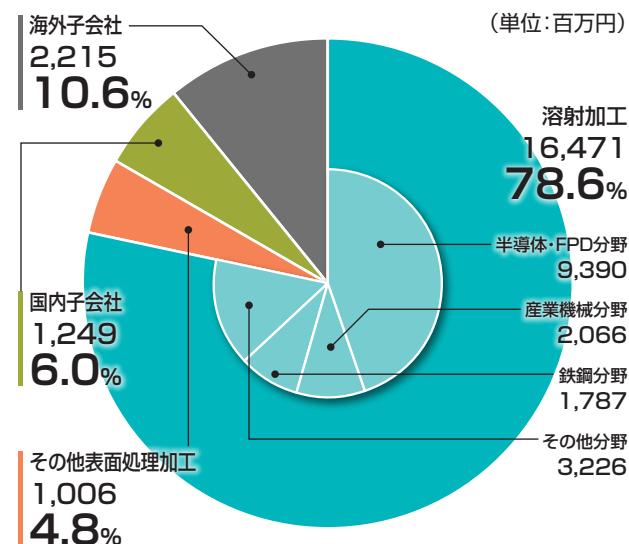
前年同期比で増収増益となり、通期業績予想の達成に向けて概ね順調に推移しています



(注) 1. 通期業績予想は、2018年7月31日に修正いたしました。  
2. 当社は、2018年3月1日付で1株につき4株の割合で株式分割を行っております。  
第65期から第67期の1株当たり当期純利益および1株当たり配当金につきましては、当該株式分割を考慮した数値に換算して記載しております。

〔第68期 中間期〕

売上高 **20,943**百万円



その他表面処理加工

前年同环比 **up**  
**1.3%**

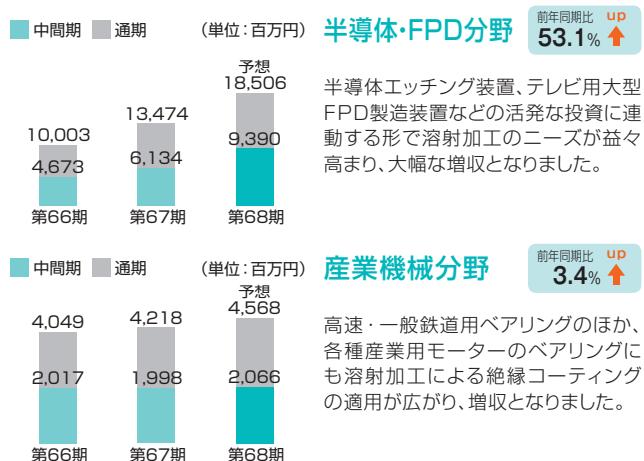
主なサービス内容 / ▶TD処理加工(拡散浸透法)による表面処理 ▶ZACコーティング加工(化学緻密化法)による表面処理 ▶PTA処理加工(特殊粉体内盛法)による表面処理



溶射加工

主なサービス内容 / ▶溶射加工による表面処理

「半導体・FPD分野」の売上高が、半導体業界の世界的な需要の高まりによる設備投資を背景として大きく伸ばしました。また、「産業機械分野」では鉄道車両や産業用モーターに用いられるベアリングのコーティング需要が増加したことなどにより、当社の溶射加工は前年同环比で大幅な増収となりました。



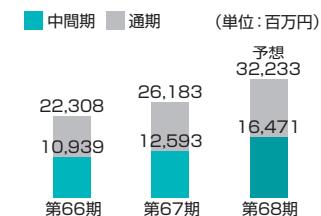
国内子会社

前年同环比 **up**  
**12.3%**

会社名 / ▶日本コーティングセンター株式会社

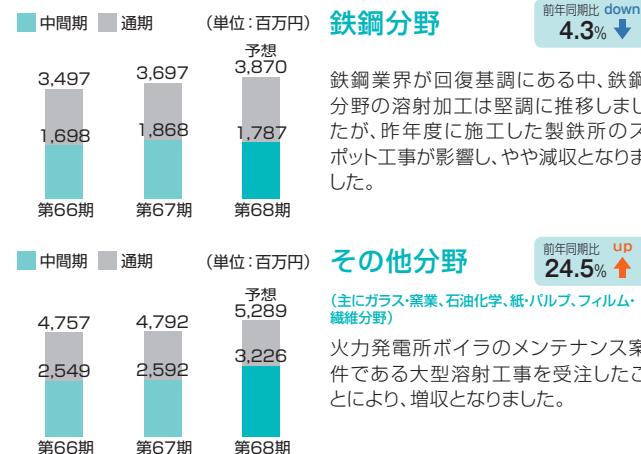


前年同环比 **up**  
**30.8%**



鉄鋼分野

前年同环比 **down**  
**4.3%**



海外子会社

前年同环比 **up**  
**33.3%**

会社名 / ▶東華隆(広州)表面改質技術有限公司 ▶東賀隆(昆山)電子有限公司 ▶漢泰國際電子股份有限公司 ▶TOCALO USA, Inc.



トピックス  
TOPICS

個人投資家説明会へ出展しました。



当社ブースの様子

先般、8月31日(金)、9月1日(土)に東京ビッグサイトで開催されました日本経済新聞社主催の「第13回 日経IR・投資フェア2018」に出展いたしました。会期中は当社出展ブースにてミニ会社説明会を行い、非常に多くの投資家の皆様にお立ち寄りいただき、当社へのご理解を深めていただくことができました。今後も個人投資家説明会に継続して出展いたしますので、ぜひお越しください。



## 溶射技術で台湾のハイテク産業を支える

漢泰国際電子股份有限公司は、2011年6月にトーカロ株式会社からの出資を受け、漢泰科技股份有限公司(台湾)の半導体・FPD事業部門を独立、トーカロ株式会社から最新技術を注入し、日台の合併企業として台南市に誕生しました。

設立以来、台湾経済の目覚ましい発展を牽引する「両兆双星(2つの1兆元産業)」である半導体産業とFPD産業において生産設備で発生する諸問題に溶射技術を用いて解決して参りました。近年では、半導体の微細化やFPDの高精細化が進み、顧客から求められる厳しい品質や納期に対応するため、2017年3月に同じ台南市内に新工場を建設し、本社機能および生産設備の大部分を移転、最新鋭設備の導入によりハイテク工場へと生まれ変わりました。これにより、超クリーンな生産環境が整い高い品質要求への対応や、生産能力の拡大による短納期対応が可能となりました。当社は、溶射技術が担う3つの使命「再生(Reproduce)」「再新(Renew)」「再循環(Recycle)」に基づき引き続き台湾のハイテク産業の発展に貢献して参ります。



漢泰国際電子 工場全景

### 漢泰国際電子股份有限公司

所在地: 台湾 台南市  
資本金: 4億台湾元  
出資比率: トーカロ株式会社50%、漢泰科技股份有限公司50%  
設立: 2011年6月

事業所数: 2工場  
従業員数: 174名  
事業内容: 溶射、精密洗浄、陽極酸化処理

### 株主の皆様へのメッセージ



董事・総経理 藍 登祥

当社の掲げる「本質精進」は「従業員一人一人が自分の本分を全うすることが会社成長の原動力である」という意味があります。またこの言葉から派生した、全従業員が共有している4つの当社企業精神を株主の皆様にご紹介いたします。

- 「顧客応用為本」・・・顧客に応じた問題解決の提供は事業発展の基本
- 「製程精確為質」・・・正確な製造プロセス構築は品質の基本
- 「材料科技為精」・・・材料開発やノウハウは企業競争力の基本
- 「人員訓練為進」・・・人材育成は持続的な成長の基本

私達は、この言葉と共に、今後とも溶射による問題解決だけでなく、顧客の生産設備の部品診断や生産効率・歩留まり改善のための提案を通じて、社会の発展の一翼を担っていきたくと考えています。

## What's トーカロ

### トーカロの溶射はすごいぞ! 溶射の技術でティッシュもフワフワ!

最近のティッシュは肌触りが良いわね。

その肌触りには、僕の会社の技術が役買ってるんだ。

そうなの!!

ティッシュを作る工場の紙を乾かす工程に溶射が使われているよ。

どうやって乾かしているの?

熱せられたヤンキードライヤーロールという超大型のロールで紙を乾かすんだ。

乾燥

90°Cで熱せられたヤンキードライヤーロール

ロールを作っているの?

巻き取り

溶射をすれば均一に乾かせるの?

ドクターブレード

原料

溶射装置

溶射皮膜

溶射の皮膜は熱を均一に伝える機能もあるんだ。

へえ、熱の伝わり方に溶射が必要なのね。

※最大 4.9m×6m 重量 100トン

こんな大きなロールにも現地で溶射できるんだよ。

カットして箱につめれば君の知っている肌触りの良いティッシュになったよ。

女性の味方ね!!

ほら!

熱

ヤンキードライヤーロール